

## 令和4年度に見直しました

ひょうごビジョン2050の策定やコロナ禍による社会潮流の変化を踏まえ、第2期地域創生戦略(2020～2024)の計画期間の中間年にあたる2022年度に中間見直しを行いました。

# 第二期(2020～2024)兵庫県地域創生戦略の全体像

地域創生は、人口が減少しても地域の活力を維持し、そこで暮らす人々が将来への希望を持てる地域を実現することです。第二期戦略では“五国”の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしができる地域をつくるという基本理念のもと、地域の元気づくりを第一に、4つの戦略の実現を目指します。

### 基本理念

## 五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域へ

### ① 地域の元気づくり

ひと・まち・産業元気プログラム

#### 重点目標 1

### 幅広い産業が元気な兵庫をつくる

- ◆兵庫の強みを活かした産業競争力の強化
- ◆地域産業の振興
- ◆企業立地・投資の促進
- ◆起業・創業の適地ひょうごの実現

#### 重点目標 2

### 内外との交流が活力を生む兵庫をつくる

- ◆地域資源を活かした交流人口の拡大
- ◆定住人口・関係人口の創出・拡大
- ◆交流を支える交通基盤の充実

### ② 社会増対策

社会減ゼロプログラム

#### 重点目標 4

### 自分らしく働ける兵庫をつくる

- ◆地元就業の促進
- ◆U/I/Tーンの促進
- ◆外国人材の活躍推進

#### 達成度を測る指標

- ① 2024年までに日本人社会減ゼロ
- ② 20歳代前半の日本人若者の県内定着率93%
- ③ 5年間で25,000人の外国人の増加

#### 重点目標 3

### 豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる

- ◆芸術文化が身近に感じられる地域づくり
- ◆にぎわいが感じられるまちづくりの推進
- ◆安全安心に暮らせるまちづくり
- ◆防災・減災対策の総合的推進
- ◆次代を担う人材を育成する教育力の強化
- ◆全員活躍社会の構築
- ◆多文化共生社会の実現
- ◆地域生活を維持する革新的技術の普及促進
- ◆豊かな環境の保全と創造

#### 達成度を測る指標

- ① 国を上回る1人当たりの県内総生産(GDP)の伸びを維持する
- ② 「住んでいる地域にこれからも住み続けたい」と思う人の割合が前年度を上回る

### ③ 自然増対策 | 子ども・子育て対策

婚姻数拡大プログラム

#### 重点目標 5

### 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる

- ◆結婚のきっかけづくり
- ◆安心して子どもを産み育てられる環境の整備
- ◆子育て応援社会の形成

#### 達成度を測る指標

- ① 2024年まで合計特殊出生率1.41を維持
- ② 「結婚したい」という希望をかなえ、2024年に婚姻数27,000件

### ④ 自然増対策 | 健康長寿対策

健康寿命延伸プログラム

#### 重点目標 6

### 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる

- ◆健康づくりの推進
- ◆高齢者等誰もが安心して暮らせる環境整備
- ◆元気高齢者の社会参加の促進

#### 達成度を測る指標

- ① 平均寿命と健康寿命の差を縮める
- ② 運動を継続している人の割合を高める(目標75%)

### ▶ 第二期戦略策定後の社会潮流の変化や見えてきた課題

地域経済	・播磨地域を中心に、水素利活用の高いポテンシャル ・第3次産業など県内企業の雇用環境の充実が重要	地元就業	・若者の就業ニーズに応じた産業の創出や、働きがいなどを重視する若者に魅力的な企業の増加が必要
交流人口	・2025大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭の開催、神戸空港国際化を契機とする国内外との交流回復	地方回帰	・コロナ禍により、地方暮らしを希望する人が増加傾向 ・30～40歳代の子育て世代が転入超過に転換
多自然地域	・集落機能の低下や産業・雇用の縮小などが深刻化 ・地域課題解決に取り組むスタートアップなどが活躍	まちづくり	・スポーツチームやイベントが地域への誇りや愛着のきっかけに ・若者の地域愛醸成や地域との交流機会創出が重要
外国人材	・高度知識・技能を持つ外国人材の採用意欲が上昇 ・外国人の居住環境等における高い優位性	結婚・出産	・コロナ禍の影響もあり、婚姻数や出生数は減少傾向 ・経済面や子育て環境など多面的な取組の充実が必要
働き方・生き方	・仕事と生活の調和や、多様な人材が柔軟に働き、安心して暮らせる環境の整備、意識の醸成が重要	児童福祉	・ヤングケアラーなどの支えが必要な子どもや子育て家庭をめぐる課題に対して、社会全体での支援が必要
		学びの環境	・課題解決や価値創造等の新たな能力の育成が重要 ・学校施設の改修など、学びの環境の充実が必要

### ▶ 後期2カ年の重点取組方針

## GROWTH DRIVER

～本県の持続的な成長、発展を牽引するための、全ての取組に通じる共通基盤～

共通基盤

- ◆SDGs: 持続可能な社会の実現に向けた世界の共通目標であり、全ての主体の行動指針
- ◆公民連携: 社会課題の解決に向け、多様な主体のポテンシャルを活かし合う
- ◆DX(デジタルトランスフォーメーション): 時間の制約や距離の壁を越え、付加価値を高める

## Frontier

～ポストコロナ社会を先導する～

### GXの加速 (グリーントランスフォーメーション)

- ・水素サプライチェーンの拠点形成や蓄電池関連産業の集積促進
- ・中小企業の脱炭素化に向けた制度構築・支援強化
- ・脱炭素化に向けた制度の構築・普及

### 2025大阪・関西万博等を見据えた関西・瀬戸内交流圏の形成

- ・ひょうごフィールドパビリオンの展開
- ・兵庫テロワール旅を基軸とした兵庫観光のブランディング
- ・兵庫県域の大阪湾ベイエリアの活性化
- ・瀬戸内エリアとの交流促進
- ・神戸空港国際化を見据えた観光等の戦略的推進

### 新たな技術や多様なチカラによる地域課題解決

- ・多自然地域における持続可能な生活圏形成への支援体制の構築
- ・多様な主体によるスタートアップの機運醸成、支援強化
- ・包括連携協定や企業版ふるさと納税など公民連携の取組強化

## Return

～地方回帰の流れを捉える～

### 働き方改革先進県の実現

- ・WLB&DIの促進、ワーケーション、マルチワークなど多様な働き方の拡大
- ・Z世代の就業志向を踏まえた企業のSDGsの取組促進
- ・誰もが自分らしく働くことができる職場づくりの推進

### 移住施策の強化 (移住推進プロジェクト)

- ・SNS等を活用した情報発信の強化
- ・相談体制の充実(東京圏、大阪における移住相談体制の強化、移住イベントの実施等)
- ・移住体験の提供(移住者との交流会の実施等)
- ・移住環境の整備(空家活用の促進、若者の県内就職・定着の促進、奨学金返済支援等)

### シビックプライドの醸成

- ・地域に根ざした産業・文化・営みにSDGsの視点から光を当て、魅力を高めるひょうごフィールド・パビリオンの展開(再掲)
- ・多様なスポーツや芸術文化等による地域活性化
- ・地域内外で活躍する起業家等と若い世代との交流機会の創出

## Future

～将来世代への応援を強化する～

### 結婚・出産・子育て支援の充実

- ・AIマッチングシステムや民間との連携等による出会い支援の強化
- ・奨学金返済支援等による若者世代の経済的負担の軽減(再掲)
- ・不妊症・不育症治療が受けやすい環境整備の推進
- ・家事・育児等に不安を抱える家庭への支援強化

### 課題を抱える人への支援強化

- ・家族の世話を日常的に行うヤングケアラーへの支援
- ・課題を抱える妊産婦や児童養護施設の児童、社会的養育経験者等への支援
- ・不登校やひきこもりなどの課題を抱える人への支援

### 教育への投資強化

- ・県立学校の施設改修や、授業・部活動の環境充実
- ・特別支援学校の教育環境の充実
- ・文理横断型の新学科の創設や国際教育の充実
- ・校務のデジタル化等による教職員の働き方改革
- ・公立・私立高校における国際教育の充実

3つの柱と主な取組



誰もが希望を持って生きられる一人ひとりの可能性が広がる「躍動する兵庫」